



- 1 『不平等社会日本: さよなら総中流』 佐藤俊樹著(中公新書 2000年)
- 2 『大衆教育社会のゆえ: 学歴主義と平等神話の戦後史』 荻谷剛彦著(中公新書 1995年)
- 3 『論理トレーニング101題』 野矢茂樹著(産業図書 2001年)
- 4 『理科系の作文技術』 木下是雄著(中公新書 1981年)
- 5 『競馬の文化誌: イギリス近代競馬のなりたち』 山本雅男著(松柏社 2005年)
- 6 『落語はいかにして形成されたか』 延広真治著(平凡社 1986年)
- 7 『文学から見た家族法: 近代日本における女・夫婦・家族像の変遷』 大村敦志著(ミネルヴァ書房 2012年)
- 8 『女たちの韓流: 韓国ドラマを読み解く』 山下英愛著(岩波新書 2013年)
- 9 『契約の時代: 日本社会と契約法』 内田貴著(岩波書店 2000年)
- 10 『損害賠償法の理論』 平井宜雄著(東京大学出版会 1971年)

本は、人との出会いと同じく、自分の世界をひろげるきっかけとなる。

大学生というゆったりとした時間を送る今、自分たちが通過してきた教育システムがどのようなものであったのか振り返ってみるのもよいかもしれない。1、2は、自分たちの現在の立ち位置を知るきっかけとなる(なお、2については原著者の『教育と平等—大衆教育社会はいかに生成したか』(中公新書、2009)も併せて読むとよい)。

論理的な、わかりやすい日本語を書きたいという願望をもつ人は少なくないはず。しかし、その願望をかなえるために何かをする人は必ずしも多くない。3、4は一步を踏み出すきっかけとなる。なお、4は文科系にも同じく有益である。

趣味—今の私の場合、競馬、落語—を深めるには、現場—競馬場や寄席—に行くに越したことはない。しかし、たまには、本でその趣味の歴史をたどり、その背景となる文化を知るのもまたよい。5、6はそのような例。

同様の試みは他の趣味でもあるはず。趣味を広げるきっかけとなる。

多少は、専門である法の話もしよう。7は、明治から平成にかけてのいくつかの文学作品を時代ごとの家族像を示す素材として利用しながら、日本家族法の変遷を描くもの。8は、韓国ドラマを素材に、その背景にある韓国の社会意識・法意識や、社会制度・法制度を紹介・検討するもの。いずれも、法と社会の関係をj知るきっかけとなる。

最後は、本格的な法学の研究書について。9は、学部生時代、契約法の講義で勧められて初めて読んだ法学の研究書。10は、法科大学院時代、研究者の道に進むべきか悩んでいたときに手にとった研究書。いずれも、私の能力不足ゆえ、最初はほとんどわからなかった。しかし、既存の理解を覆して新たな基礎理論を提示しようという壮大さは感じられた。研究の匂いをかいでみるきっかけとなる。

新座図書館AVブースが、より使いやすく新しくなりました。

新座図書館のAVブースがこの夏新しくなりました。ジグザグ型のブースは個室のような感覚で、落ち着いて利用できます。機器も一新し全席にブルーレイプレーヤーを備えました。小さくて見づらかった画面が液晶大画面となり机とイスも広々としているので、授業で課題にあがった映像資料もノートを取りながら鑑賞できます。個人用19ブースに加え、二人用も2ブース用意しています。みなさん、どんどん利用してください。



INFORMATION

Your Library 第26号(通号85) 発行日 2013年11月29日

編集 井川 充雄(図書館副館長) <http://www.rikkyo.ac.jp/research/library/>
発行人 豊田 由貴夫(図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2801
発行 立教大学図書館 印刷 立教プリンティングステーション



YOUR LIBRARY

AUTUMN ISSUE 2013.11.29 no.26

本はどうやって選んでいるの? ~図書館の本が棚に並ぶまで~



池袋図書館入館者数

100万人突破!

昨年11月7日全面開館後、8月に累計100万人突破

読書ナビ

山口敬介
准教授
(法学部)

START

たくさん並んでいるけれど…
本はどうやって
選んでいるの？

図書館の本が棚に並ぶまで

図書館の本は、誰が、どのような基準で、どのように選んでいるのか、そして選んだ資料を皆さんが手に取るようになるまでには、どのような作業をしているのかをご紹介します。



選書

このような方法、考え方で
選んでいます。

大学図書館に並んでいる本は、書店や町の公共図書館とはだいぶ違います。売れ筋の小説はあまり入っていませんが著名な作家の個人全集などは入っている、とても読めそうもない洋書の専門書があるかと思うと、文庫本や週刊誌、旅行ガイドも置いてあります。ちょっと不思議に思うかもしれませんが、図書館公式ホームページの「蔵書構築方針」という項目を開くと、次のような「収書基準」がしめされています。

1

各分野の
基本的な
資料を
収集する。

2

特定の主義・
主張・思想・信条に
偏らず、幅広く
バランスの
取れた資料の
収書を行う。

3

学生の学習活動を
支援するため、
カリキュラムや
シラバスに準拠
した収集も行う。

4

所蔵資料の
改版は
原則として
購入する。

5

紙媒体以外の
情報源も、
積極的に整備
拡充する。

大学は教育機関ですので、授業のための参考書やテキストがまず優先順位の高い資料となります。加えて学生のみ皆さんの便宜や図書館に親しんでもらうため、一般教養書や実用書なども揃えています。学生用の図書は図書館職員が、上記の収書基準に基づいて、年に8万点出版されると言われる出版物から「選書」しています。小説については芥川賞や直木賞などの受賞作を主に購入する、文庫・新書については岩波文庫などの特定のものを購入する、といった詳細にわたる収書基準を決めています。



大学は研究機関でもありますので、各学部の教員が選書して図書館が購入する図書もあります。外国の専門書や古書の多くは教員や大学院生用に「研究書」として購入された資料です。こうした研究書は、立教大学の学問分野に沿った蔵書群の礎となります。たとえば新座図書館では、観光学、社会福祉、映像身体、心理学といった専門分野の図書や映像資料が集中的に購入され、新座図書館の蔵書の特色となっています。立教大学図書館全体としては、医学や工学の研究書は少なく、社会科学、キリスト教関係の図書の比率が高くなっています。

その他、教員推薦やシラバス掲載、「キャリア支援図書」「日本関係」「外国語リーダー」などの特色あるコーナーの趣旨に基づいた購入、寄贈された図書を受け入れるなどの方法もあります。

図書館では、学修・研究支援の一環として学生のみ皆さんの図書購入希望を受け付けています。「学生希望図書」についての案内を確認の上、カウンターで申し込みを行ってください。

※掲示は【池袋：正面入口右側掲示板、新座：メインカウンター左側掲示板】にあります。

※全ての資料は、立教大学蔵書構築方針に沿って受入の可否を判断しています。

装備

図書館で受け入れた資料には、バーコードや背ラベルを貼るなどの管理に必要な装備をします。

目録

装備が完了した資料は、書架に並ぶ前にタイトルや著者名などの情報を登録しています（この作業を図書館では「目録をとる」といいます）。これらの情報を元に、OPAC検索が可能になります。

配架

整理が完了した資料は、基本的に書架の左上から請求記号順に並べます（この作業を図書館では「配架する」といいます）。実際に書架に行くと、探している本の近くには同じ分野の本が並んでいるので、周りも見回してみましょう。

情報検索講習会に参加しよう!

図書館では、学生のみ皆さんの学修支援の一つとして、情報検索のテクニックを学べる図書館活用講座やオンラインデータベース講習会を実施しています。詳細は図書館内掲示かHPまで。

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/library/learning/guidance/>

NDCを 参考に

資料を探すときは

立教大学図書館では、現在「日本十進分類法（NDC）新訂9版」を用いて資料を分類しています。この分類の数字は、資料の背ラベルやオンライン蔵書目録（OPAC）で表示される「請求記号」の分類番号と対応しているのです。資料は請求記号順に書架に並んでいるので、探すときの参考にしてみてくださいね。
※下表の数字は分類番号の上1桁に対応しています。

日本十進分類法（NDC）

0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学
4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術
8 言語	9 文学		

Quiz

新座図書館の、夏にリニューアルしたとあるコーナーの写真です。どこかわかりますか？

詳しくは次ページ「INFORMATION」をご覧ください。



GOAL!

なるほど!
今日はこの本を
借りてみようっと。

